

アジア諸国との関係

《1 _____ 貿易》…2朱印状(幕府の渡航許可証)の発行 主に東南アジアで活動

- 豪商 京：3 _____ ・4茶屋四郎次郎 堺：5納屋助左衛門(呂宋助左衛門)
- 長崎：6末次平蔵・荒木宗太郎 摂津平野：7末吉孫左衛門
- 西国大名 島津氏(家久)・松浦氏・有馬氏・加藤氏

輸入 8生糸・絹織物(中国産)、皮革・香料・薬種(南洋産)、ラシヤ(欧州産)

輸出 9銀(世界の産出量の約3分の1)、銅、鉄、硫黄、漆器

日本人の海外移住 ←日本社会の固定化・牢人の増加

→東南アジア各地に10日本(人)町の形成…自治や治外法権を認められた町もある

<例>11シヤム(タイ)の12アユタヤ(13山田長政…リゴール大守→暗殺)

14ルソン(フィリピン)のディラオ・サンミゲル、15カンボジアのプノンペン・ピニャルー、
16コーチ(ベトナム南部)の ツーラン・フェフォオなど →1.8世紀にはほぼ消滅

《中国(明)》海禁(鎖国)政策→17出會貿易(両国の船が台湾などで貿易)の形式で交易

《朝鮮》国交回復(1607) →18朝鮮 _____ が慣例化…19將軍の代替り毎に来日 12回 400人以上

20対馬の宗氏の努力→朝鮮との貿易の公認(鎖国後も)…21 _____ (1609：22慶長条約)
毎年20隻 釜山での開市

《琉球》23島津家久(薩摩)の琉球征服(1609)→24 _____ は、一時江戸へ連行される

以後、將軍の代替り毎に25 _____ を幕府へ、琉球王の代替り毎に26 _____ を幕府へ

一方で27中国(明・清)への朝貢も継続…28両属関係 砂糖などを薩摩へ上納

《蝦夷地》^{かきざき}蠣崎氏、秀吉に蝦夷島主と認められる(1590)→徳川に服属(1599)、29 _____ 氏と改める

松前藩 最北の藩 石高なし(待遇は1万石) 30アイヌとの独占交易権を持つ <例>蝦夷錦

☆家臣に商場(アイヌとの交易場)を与える…31 _____

1669. 32シヤクシャインの戦い…アイヌが蜂起 原因は日本商人と松前藩による不正な搾取

→武力差により鎮圧

☆以後は商人が交易を請け負う33 _____ へ

ヨーロッパ諸国との関係

A. 34 _____ の来航…35 _____ ・ 36 _____ (布教よりも)37 貿易重視
 38 新教(プロテスタント)国の台頭 ⇔ 39 旧教(カトリック)国 <例> イスパニア・ポルトガル
 <例> イスパニア無敵艦隊、イギリス軍に敗北(1588)
 40 東インド会社設立 …イギリスはインド(1600)、オランダはバタビア(インドネシア)中心(1602)
 41 1600. 42 オランダ船43 _____ の豊後漂着 …… 現ジャカルタ
 44 ウィリアム=アダムズ(英: 日本名45 三浦按針) ……
 46 ヤン=ヨーステン(蘭: 日本名47 耶揚子) …… 船員→家康の外交顧問に
 48 平戸で貿易開始…蘭(1609~)、英(1613~)

B. ポルトガルとの生糸貿易

1604. 49 _____ 制度…特定の商人に 50 輸入生糸を一括購入させる
 …… 51 糸割符仲間…52 五カ所商人(京・長崎・堺・大坂・江戸)

目的 ポルトガル人の暴利を抑制・貿易の統制・幕府の利益

→のち、中国(清)・オランダにも適用 1655中断、1684. 復活

C. イスパニアとの関係 ※53 サン=フェリペ号事件(1596)→国交断絶

1610. 漂着した前ルソン総督54 ドン=ロドリゴを送還 →国交回復

55 _____ (メキシコ)との通商交渉 同行
 56 徳川家康…57 _____ 派遣(1610 日本人初の太平洋横断)
 58 伊達政宗…59 _____ 派遣(1613 60 _____ **使節**) } →いずれも失敗
 宣教師ルイス=ソテロに同行 ローマ教皇パウロ 5世にも謁見

【正誤問題に挑戦】 <センター1991本試験、1990追試験より>

- (1) 幕府は、17世紀初めに、ポルトガル商人に対抗するため、長崎などの商人に仲間を結成させ、輸入生糸を一括購入・販売する制度を採用した。
- (2) 琉球を征服した島津氏は、明(のちに清)への朝貢をつづけさせ、琉球での貿易から利益を得ていた。

アジア諸国との関係

《1朱印船 貿易》…2朱印状(幕府の渡航許可証)の発行 主に東南アジアで活動

{	豪商 京： <u>3角倉了以</u> ・ <u>4茶屋四郎次郎</u> 堺： <u>5納屋助左衛門</u>
	長崎： <u>6末次平蔵</u> ・荒木宗太郎 <small>そう</small> 摂津平野： <u>7末吉孫左衛門</u>

西国大名 島津家久・松浦鎮信・有馬氏・加藤氏

輸入 8生糸・絹織物(中国産)、皮革・香料・薬種(南洋産)、ラシヤ(欧州産)

輸出 9銀(世界の産出量の約3分の1)、銅、鉄、硫黄、漆器

日本人の海外移住 ←日本社会の固定化・牢人の増加

→東南アジア各地に10日本(人)町の形成…自治や治外法権を認められた町もある

〈例〉11シヤム(タイ)の12アユタヤ(13山田長政…リゴール大守→暗殺)

14ルソン(フィリピン)のディラオ・サンミゲル、15カンボジアのプノンペン・ピニャルー、
16コーチ(ベトナム南部)の ツーラン・フェフォオなど →1.8世紀にはほぼ消滅

《中国(明)》海禁(鎖国)政策→17出会貿易(両国の船が台湾などで貿易)の形式で交易

《朝鮮》国交回復(1607) →18朝鮮通信使が慣例化…19将軍の代替り毎に来日 12回 400人以上

…20対馬の宗氏の努力→朝鮮との貿易の公認(鎖国後も)…21己酉約条 (1609：22慶長条約)

毎年20隻 釜山での開市

《琉球》23島津家久(薩摩)の琉球征服(1609)→24尚寧王は、一時江戸へ連行される

以後、将軍の代替り毎に25慶賀使を幕府へ、琉球王の代替り毎に26謝恩使を幕府へ

一方で27中国(明・清)への朝貢も継続…28両属関係 砂糖などを薩摩へ上納

《蝦夷地》かきざき蠣崎氏、秀吉に蝦夷島主と認められる(1590)→徳川に服属(1599)、29松前氏と改める

松前藩 最北の藩 石高なし(待遇は1万石) 30アイヌとの独占交易権を持つ 〈例〉蝦夷錦

☆家臣に商場(アイヌとの交易場)を与える…31商場知行制

1669. 32シャクシャインの戦い…アイヌが蜂起 原因は日本商人と松前藩による不正な搾取

→武力差により鎮圧

☆以後は商人が交易を請け負う33場所請負制へ

ヨーロッパ諸国との関係

A. ³⁴紅毛人の来航…³⁵イギリス・³⁶オランダ (布教よりも)³⁷貿易重視

³⁸新教(プロテスタント)国の台頭 ⇔ ³⁹旧教(カトリック)国 <例>イスパニア・ポルトガル

<例>イスパニア無敵艦隊、イギリス軍に敗北(1588)

⁴⁰東インド会社設立…イギリスはインド(1600)、オランダはバタビア(インドネシア)中心(1602)

⁴¹1600. ⁴²オランダ船⁴³リーフデ号の豊後漂着 …… 現ジャカルタ

⁴⁴ウィリアム=アダムズ(英: 日本名⁴⁵三浦按針)

⁴⁶ヤン=ヨーステン(蘭: 日本名⁴⁷耶揚子) …… 船員→家康の外交顧問に

→⁴⁸平戸で貿易開始…蘭(1609~)、英(1613~)

B. ポルトガルとの生糸貿易

1604. ⁴⁹糸割符制度…特定の商人に⁵⁰輸入生糸を一括購入させる

…⁵¹糸割符仲間…⁵²五カ所商人(京・長崎・堺・大坂・江戸)

目的 ポルトガル人の暴利を抑制・貿易の統制・幕府の利益

→のち、中国(清)・オランダにも適用 1655中断、1684. 復活

C. イスパニアとの関係 ※⁵³サン=フェリペ号事件(1596)→国交断絶

1610. 漂着した前ルソン総督⁵⁴ドン=ロドリゴを送還 →国交回復

⁵⁵ノビスパン(メキシコ)との通商交渉 同行

⁵⁶徳川家康…⁵⁷田中勝介派遣(1610 日本人初の太平洋横断)

⁵⁸伊達政宗…⁵⁹支倉常長派遣(1613 ⁶⁰慶長遣欧使節)

宣教師ルイス=ソテロに同行 ローマ教皇パウロ5世にも謁見

} →いずれも失敗

【正誤問題に挑戦】 <センター1991本試験、1990追試験より>

- (1) 幕府は、17世紀初めに、ポルトガル商人に対抗するため、長崎などの商人に仲間を結成させ、輸入生糸を一括購入・販売する制度を採用した。○
- (2) 琉球を征服した島津氏は、明(のちに清)への朝貢をつづけさせ、琉球での貿易から利益を得ていた。○